

次期「豊能町ごみ処理基本計画」 全体構成（案）

1. 総論

- ①計画策定の趣旨
- ②本計画の位置づけ
- ③計画の目標年度

2. ごみ処理に係る現状

- ①町の概況
- ②ごみ処理に関する概況

3. ごみ排出量の将来予測

- ①人口の将来予測
- ②ごみ排出量の将来予測

4. ごみ処理基本計画

- ①基本理念
- ②基本方針
- ③ごみ処理主体
- ④ごみ処理体系
- ⑤排出抑制・資源化計画
 - ・ごみ減量と資源化へ向けた取り組み → 「⑥の減量と資源化目標」へつなげる
- ⑥減量と資源化目標
 - ・次期「豊能町ごみ処理基本計画」における新たな減量・資源化目標について
 - 「次期計画」における目標設定の考え方については、これまでの各計画の目標設定の考え方を継承するが、「総排出量のうち、50%以上を減量・資源化する」ではなく、減量目標として「1人1日あたりのごみ排出量を750g以下に減量する」を、資源化目標として「生活系ごみ（家庭系ごみと集団回収）の50%以上の資源化をめざす」の2つの目標を設定する。
 - ・「減量目標」・・・「1人1日あたりのごみ排出量を750g以下に減量する」
 - ・「資源化目標」・・・「生活系ごみ（家庭系ごみと集団回収）の50%以上の資源化をめざす」

●目標達成に向けた施策の方向性

目標数値の達成を目指して、「次期計画」における施策の方向性については、これまでの計画のうち、特に「第2次減量化計画」の基本的な考え方を引き継ぐものとして考える。

⑦収集・運搬計画

⑧中間処理計画

⑨最終処分計画

⑩その他ごみの処理に関し必要な事項

<資料編>

1. ごみ排出量の実績（平成14年度～平成26年度。出典：大阪府実態調査より）
2. 人口及びごみ排出量の将来予測方法
3. ごみ組成調査（平成26年10月調査）
4. 用語解説
5. 豊能町廃棄物減量等推進審議会委員名簿
6. 策定経過（第1回～第5回）